

元衆議院議員

村岡敏英



働きます!あなたの声を実現します!



〈発行〉秋田再起動を実現する会 〒015-0875 由利本荘市砂子下113-9 村岡としひで 検索
NEWS第5号・討議資料 TEL.0184-22-8430 FAX.0184-22-8151



〈村岡敏英後援会 秋田事務所〉 〒010-0914 秋田市保戸野千代田町2-58 TEL.018-853-6081 FAX.018-853-6082

村岡敏英の政治信条

「率先垂範(そっせん-すいはん)」

※率先垂範(そっせん-すいはん)・・・先に立って模範を示すこと。明治時代の農村指導者で、生涯を貧農救済に捧げ、「農聖」と敬称された石川理紀之助が遺した「寝て居て人を起こすこと勿れ」の訓言はこの「率先垂範」を示す



全県をくまなく歩いて、現場の切実な声を聞いてこそ、現状を変える政策が実行できます。
徹底した現場主義で、何度でも「現場を歩く・切実な訴えを聞く・率先して動く」ことが
課題解決の早道。これが政治家を目指した時からの変わらぬ政治信条です。

日本・秋田再起動

世界は、新型コロナ、ロシア・ウクライナ戦争等により経済は大きく低迷していますが、日本はその前から長期低迷に陥り、国力が低下し続けています。
1989年当時世界1位だった国際競争力ランキングは、今やシンガポールや中国に抜かれ31位、実質賃金指数・実質年金も下がり、今を生きることだけに精一杯な人が増えています。
特に経済の低迷の大きな原因は、人口減・少子化、都会と地方の格差の拡大です。
今こそ経済政策を「積極財政」に転換し、地方再生を実現し、経済・社会をもう一度動かす時です。
秋田は日本で最も加速度的に人口減・少子化・高齢化率が進んでいます。だからこそ**秋田の課題を解決することは日本の再生につながります。**
私は全県各地をくまなく歩き現場の実情を捉えて秋田の未来を変えるために政策を全力で実現します。**秋田再起動が日本の未来を変える道しるべ**になるとの信念で全身全霊で取り組んで参ります。



日本・秋田再起動・政策① 〈農林水産業の所得向上〉

世界的な食糧危機に備え食料の安全保障を守るために、食料自給率50%、生産コストの支援等の政策実現。また林業は、環境保全の観点から木材産業の活性化、伐採、再造林の推進、林道網の整備を実現。
農業は秋田の基幹産業であり、**農業・食糧を守るために水田活用交付金の恒久的な政策の推進**。さらに、農地の集積・集約化による規模拡大。また家族農業・中小規模農業者を含め、**全ての農業者がその持てる力を発揮できる生産現場の実情に合わせた農業政策を実現し農村を守ります。**

農林水産業総合戦略を策定し、技術革新によるスマート農林水産業の推進、付加価値を付けた加工、輸出、経営支援、担い手育成、販路拡大により所得向上と経営安定を推進し持続可能な産業を実現します。



日本・秋田再起動・政策② 〈脱炭素社会 (カーボンニュートラル)立県〉

自然環境への影響等の徹底調査のもと、地熱・水力・風力・太陽光発電など「県産自然再生エネルギー」による、脱炭素社会のモデル地域を推進し、全国一の「脱炭素社会立県」をめざします。
「エネルギーあるところに新しい産業が生まれる。」

今、世界・日本の企業は脱炭素社会を目指しグリーンエネルギーの活用に取り組んでいます。**その方針は、企業移住・誘致拡大に優位性が発揮できます。**
更に、秋田の企業も工業製品、農林水産物加工等の製造もグリーンエネルギーを活用し、付加価値を高めた秋田ブランド製品を全国・世界への発信で、秋田の成長戦略(雇用創出・所得向上・技術革新)に繋がります。
そのためには、**国において規制緩和、電源立地交付金、税制改正等に取り組みでまいります。**

日本・秋田再起動・政策④ 〈年金・医療・介護〉

持続可能な世代間・公平な最低保障機能を強化した新しい基礎年金制度への移行を検討します。低年金受給者・低所得者の対策を強化する。感染症対策としてワクチン接種・治療薬の開発・医療体制の整備等、**万全の新型コロナ対策を行います。**
新型コロナで影響を受けた事業者・家計・生活を支える支援策を強化。
高齢者施設の介護サービスの質を確保するために、**すべての施設職員の職場環境改善・賃金向上を推進します。**

日本・秋田再起動・政策⑤ 〈人づくりこそ国づくり〉

全ての子供が人生の平等のスタートラインに立つための**教育無償化、児童手当拡充、保育士・幼稚園職員等賃金向上。また、不妊治療の保険適用実現。**
年齢・性別・障害の有無にかかわらず**スポーツを通じた秋田の元気・地域の活性化を実現**します。障がい者・難病患者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるよう入所施設の充実と共に『**障害者差別解消法**』の実効性のある運用を進めます。

日本・秋田再起動・政策⑥ 〈賃金向上〉

中小企業が正社員を雇用した場合の事業主の社会保険負担の軽減、賃金を上げた場合の法人税の減税や賃金補填制度、下請け保護制度、事業承継制度の拡充など**中小企業支援策を強化し賃金向上に繋がります。**

日本・秋田再起動・政策⑦ 〈インフラ整備〉

秋田の高速交通体系の早期整備を促進し、地域交流、産業・観光の活性化を実現します。さらに自然災害等への対応を強化するため河川・ダム等インフラ整備、老朽インフラの計画的更新を進め安全・安心な秋田を作ります。

秋田・日本再起動！この男、秋田を変える。

22年連続がん死亡率1位という現状を変える

(2019年データ)



工藤進英先生
工藤青腸内科クリニック特別顧問
昭和大学医学部教授

秋田県のがん死亡率は22年連続全国ワーストワンとなっている。この現状を変えるため『医療特区』を推進し、人的・予防・技術的資源を結集した日本初の世界最先端消化器がんセンターを設立する。昨年12月18日、昭和大学教授で、NHK「プロフェッショナル仕事の流れ」でも「神の手を持つ男」と紹介された工藤進英先生(大仙市出身)に講演して頂いた。その講演の中で故郷に自分ができる事として、消化器がんセンターの設立を成し遂げたいという決意を語られた。私は先生の思いに共感し、秋田のがん死亡率ワーストワンを返上し、県民の命はもろんのこと全国、世界から秋田がんセンターに検査、治療に来る方の、医療ツーリズムを確立し、世界最先端の消化器がんセンターの実現を推進する。

日本・秋田再起動・政策③
日本初・最先端消化器
秋田がんセンター設立

村岡敏英〈がんセンター〉設立への想い

私の小中学校時代は、両親が東京、兄弟は秋田でした。そんな私の面倒をよく見てくれたのは、8歳上の優しい従姉妹のお姉ちゃんでした。『社会人になってからも進路や人生の悩みなど何でも相談できる存在でした。』そのお姉ちゃんが、大腸がんになり壮絶な『がん』との闘いが始まりました。当時、お姉ちゃんには幼い子供がおり、その子のためにも絶対にガンを克服すると気丈に闘っていた姿を今でも鮮明に憶えています。また、私の初出馬の際、闘病中なのに親身になって心配してくれました。

40代という若さで永眠した時には、悔しくて悔しくて人生の儚さを痛切に実感しました。母親として幼い子供を残しどんなにつらい思いだったのか、早期発見または最先端の治療を受けることができたらと今でも残念な思いです。がんは本人のみならず、家族をも巻き込み人生や生活を一変させます。救える命を救うために秋田に世界最先端消化器がんセンター設立を必ず実現させたいと思います。

村岡としひで 秋田も日本も待ったなし

秋田県知事選挙におきましては、我々「秋田再起動を実現する会」が応援する村岡敏英氏を多くの皆様が、雪の日・雨の日でも必死になって共に戦っていただき、お陰様で193,538人の方々から力強いご支援をいただき感謝申し上げます。しかしながら我々の力不足で皆様のご期待に応えることが出来ず、衷心よりお詫び申し上げます。

村岡敏英氏はその後、約1年の間、全県各地を訪問して現状の秋田に対する切実なご意見をいただき活動を続けております。

現在、日本の緊急課題は、新型コロナの万全な対策、外交・日米安保・人道支援の強化、さらに急速な人口減少・高齢化率への対策、都会と地方の地域格差の拡大の解消です。村岡敏英氏は、日本の緊急課題に取り組むと共に日本で一番急速なスピードで進んでいる秋田の課題を解決することは日本の未来を変える道しるべに繋がると訴えております。日本・秋田の為にこまなく全県を歩き、行動力・発言力・実現力のあるこの男をこのまま在野においておくことは出来ない。『秋田も日本も待ったなし』の日本・秋田の為に「日本・秋田再起動」を訴えている村岡敏英氏を引き続き強力に応援して参る決意です。

今後とも秋田の未来を変えるために行動する村岡敏英氏と共に戦う「秋田再起動を実現する会」にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

秋田再起動を実現する会 

参議院議員とは・・・

参議院議員は、全県を選挙区とし日本の議会制度の中で唯一の6年の任期です。それ故、本来長期的・総合的な視点に立ち、全県の現場をくまなく歩き、期限と目標を決め政策実行が可能です。

さらに、政党に属しない議員の活動の場を広く認めており、無所属であっても政策実現が出来ます。

